令和 7 年 12 月 20 日
西中国信用金庫

お客さま本位の業務運営にかかる基本方針

西中国信用金庫は、ここに「お客さま本位の業務運営にかかる基本方針」を制定し、役職員がこれを一体となって共有することにより、常にお客さま本位の業務運営を心掛け、お客さまに寄り添い、最適な商品・サービスの提供を実現してまいります。

一 お客さま本位の業務運営に関する基本方針の策定・公表等　【原則 1】

1 当金庫は、お客さまに寄り添った業務運営を徹底するため、「お客さま本位の業務運営にかかる基本方針」を策定、公表いたします。

2 お客さま本位の業務運営を実現するために、本基本方針を定期的に見直してまいります。見直しの際には、その取組状況についても公表してまいります。

二 お客さまの利益を追求する企業文化の定着　【原則 2】

1 当金庫の役職員は、高度の専門性と職業倫理を保持し、お客さまに対して誠実・公正に業務を行い、お客さまの最善の利益をお客さまとともに追求してまいります。

2 本基本方針で謳う業務運営が研修等を通じて役職員の中に醸成され、当金庫の企業文化として定着するよう努めてまいります。

3 お客さまの利益を追求する企業文化を定着させるため、「すべてはお客さまの笑顔と感謝のため」①お客さまのことを知り尽くします。②お客さまのお困りごとに寄り添います。③お客さまとともに成長します。という「にししん Way」を宣言し実践してまいります。

三 お客さまのニーズに沿った商品・サービスの提供　【原則 6】

当金庫は、お客さまの資産の状況、投資経験、金融知識および投資目的・ニーズを十分に把握し、お客さまのライフステージやライフプランに沿った最適な商品・サービスをご提案してまいります。

四 手数料等費用および重要な情報の提供　【原則 4、5】

お客さまに商品・サービスを説明する際には、各種手数料等費用および重要な情報（商品性、リスク・リターン等）について、契約締結前交付書面、タブレット端末等を使用し、分かりやすく、丁寧に説明してまいります。

五 利益相反の適切な管理　【原則 3】

お客さまの利益を損なうことがないよう利益相反取引管理に取組んでまいります。

六 業績評価への反映　【原則 7】

当金庫職員の間に、お客さま本位の業務運営の浸透・徹底を図るため、職員の業績評価項目に本基本方針の内容を反映させてまいります。

以上

＊【原則】は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」との対応を示しています。

令和 7 年 12 月 20 日

西 中 国 信 用 金 庫

お客さま本位の業務運営にかかる基本方針を
実践するためのアクションプラン

一　お客さま本位の業務運営に関する基本方針を実践するためのアクションプランの策定・公表等

当金庫は、本基本方針を実践するためのアクションプランを策定のうえ、1 年ごとに見直し、取組状況と合わせて公表してまいります。

二　お客さまの利益を追求する企業文化の定着

1　当金庫は、「にししん Way」に基づく本基本方針の取組みが企業文化として定着するよう、役職員への研修や項目六に掲げる評価制度の充実に努めてまいります。

2　当金庫は、お客さまにとって、分かりやすく、丁寧な説明ができる体制づくりに努めてまいります。

三　お客さまのニーズに沿った商品・サービスの提供

1　当金庫は、お客さまがライフプランニング、ライフイベントにかかる費用などへのご理解を深めて頂くため、タブレット端末、資料等を活用し情報を提供してまいります。また、ライフプランシミュレーションに基づくアドバイスを実践してまいります。

2　投資信託については、お客さまの投資目的、リスク許容度等に応じた、適切な商品をご選択頂けるよう、商品ラインアップを充実させるとともに、商品性やリスク・リターン等を分かりやすく、丁寧に説明し適切なアドバイスを実践してまいります。

また、ご購入後は、担当者もしくは書面等を通じた方法により、運用状況などの情報提供を図ってまいります。

3　当金庫は、資産形成について、長期・分散投資をお勧めするとともに、適切なアドバイスを実践してまいります。なかでも、若年層のお客さまや運用経験の浅いお客さま、および、安定的な資産形成ニーズが高いお客さまに対しては、にししん投信自動積立や iDeCo（個人型確定拠出年金）をお勧めしてまいります。

4　当金庫は、安定的な資産形成に資する税制優遇制度である、新しい NISA（少額投資非課税制度）や iDeCo（個人型確定拠出年金）の情報提供に取り組むとともに、活用方法などを分かりやすく、丁寧に説明し提案してまいります。

5　保険商品については、お客さまの加入目的、収入・資産および家族構成等に照らして、公的保障制度を踏まえた、最適な保障内容・妥当な保障額の保険商品を提案してまいります。

6　お客さま・職域向けセミナーの開催、ホームページでの情報発信を通じて、ライフプランニングおよび資産形成の重要性等について説明してまいります。

7　高齢のお客さまに対しては、当金庫が定めた対応に則り、丁寧かつ慎重に説明を行いお客さまのニーズに沿った商品を提案してまいります。

四　手数料等費用および重要な情報の提供

お客さまにご提供する商品・サービスの名目を問わず、お客さまにご負担いただく手数料その他の費用、重要な情報（商品性、リスク・リターン、取引条件等）は、お客さまの投資経験、金融知識等を考慮のうえ、契約締結前交付書面、商品パンフレットやタブレット端末等を用い、提案する商品・サービスの選定理由を含め、分かりやすく、丁寧に説明し、透明性の確保に努めてまいります。

五　利益相反の適切な管理

当金庫が規定する「利益相反管理方針」、「利益相反管理マニュアル」を遵守し、お客さまとの利益相反の可能性について正確に把握し、利益相反の可能性がある場合は、その利益相反を適切に管理します。

六　業績評価への反映

1　当金庫は、役職員によるお客さまの資産形成へのお手伝いの状況をご確認していただくことを目的に、投資信託お預かり残高、投資信託保有顧客数、NISA 口座数および投信自動積立口座数を成果指標（金庫 KPI（Key Performance Indicator））として引き続き公表してまいります。

また、共通 KPI として、運用損益別顧客比率、投資信託預かり残高上位 20 銘柄のコスト・リターン／リスク・リターンを公表してまいります。

2　当金庫は、お客さま本位の営業活動を浸透させるため適切な業績評価の仕組みを整備し、KPI を業績評価および人事考課にも反映してまいります。

以　上

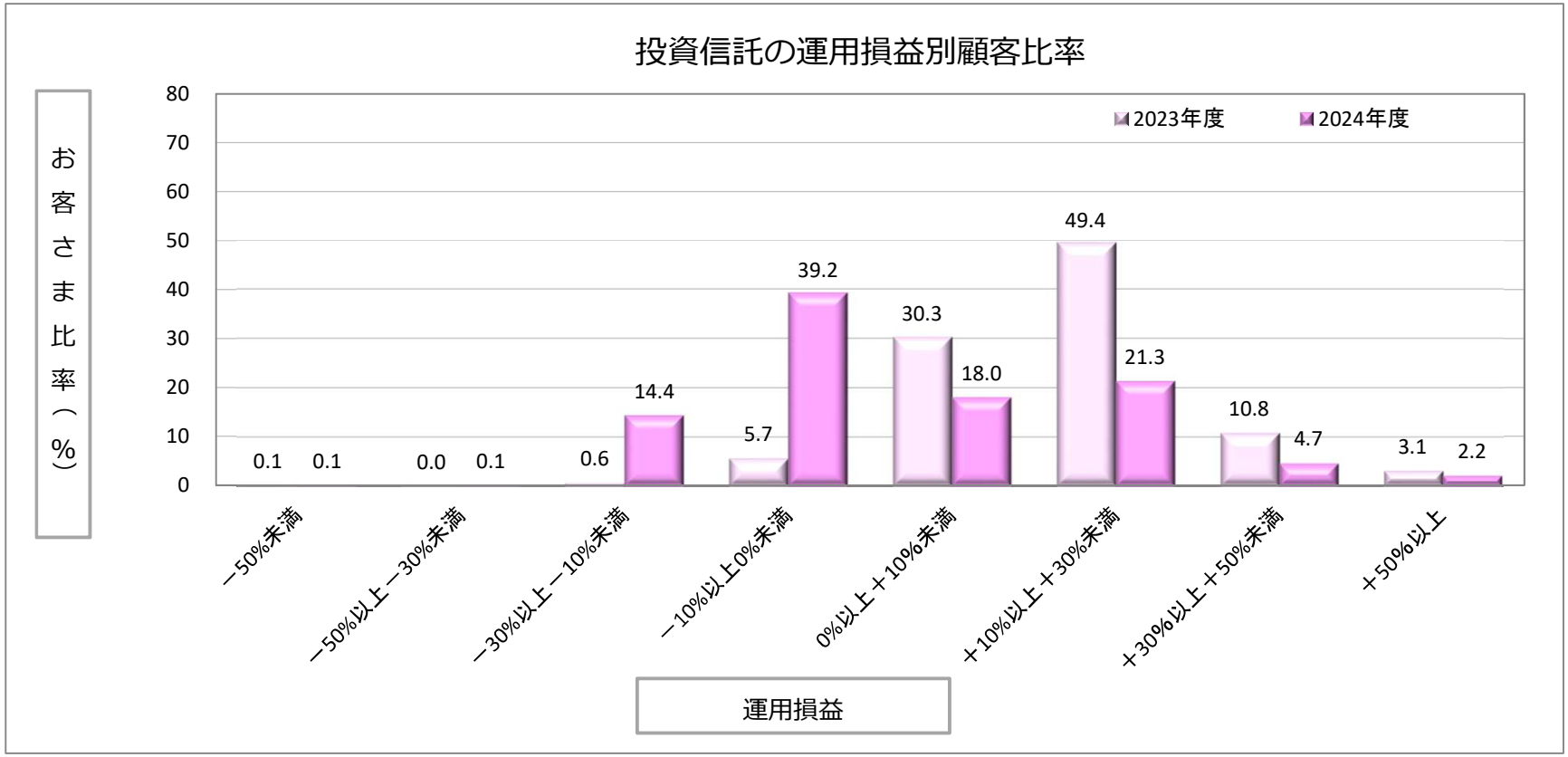
投資信託に関する取組状況

○共通KPI

1　運用損益別顧客比率

当金庫にて投資信託を保有しているお客様の運用損益状況を、運用損益率区分ごとに表示しています。

2025年3月末時点では、46.2%のお客さまの運用損益がプラスとなりました。



基準日：2025年3月末時点

運用損益：基準日時点の評価金額＋累計受取分配金額（税引後）＋累計売却金額－累計買付金額（販売手数料（税込）を含む）

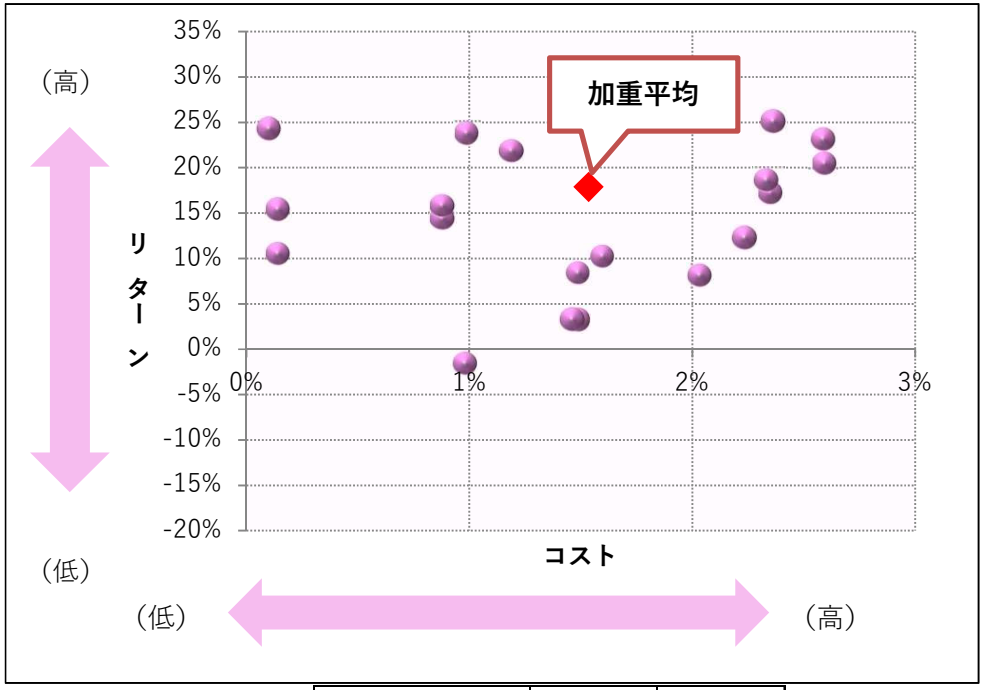
運用損益率：上記運用損益を基準日時点の評価金額で除して算出

2 投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン／リスク・リターン

当金庫の投資信託の残高上位20銘柄について、リスクやコストに対するリターンを表示しています。

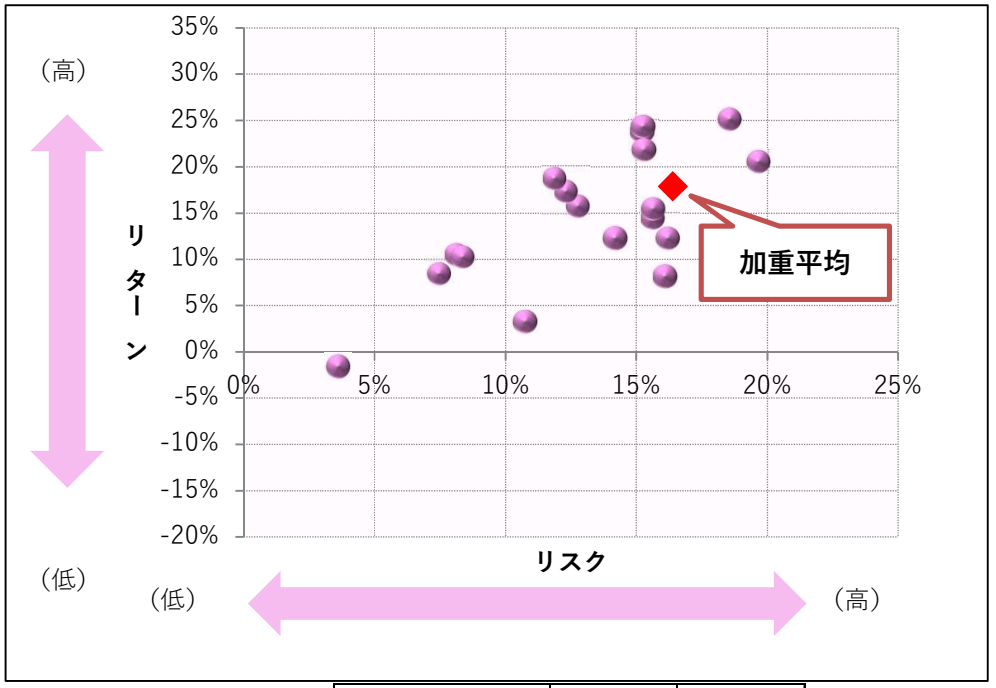
残高上位20銘柄の平均コスト1.53%、平均リスク 16.40%に対し、平均リターンは 17.90%となりました。

○投資信託預かり残高上位20銘柄のコスト・リターン



残高加重平均値	コスト	リターン
	1.53%	17.90%

○投資信託預かり残高上位20銘柄のリスク・リターン



残高加重平均値	リスク	リターン
	16.40%	17.90%

基準日：2025年3月末時点

対象ファンド：投資信託の残高上位20銘柄（設定後５年以上）

コスト：（購入時手数料÷5）＋信託報酬（年率）

リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）　騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

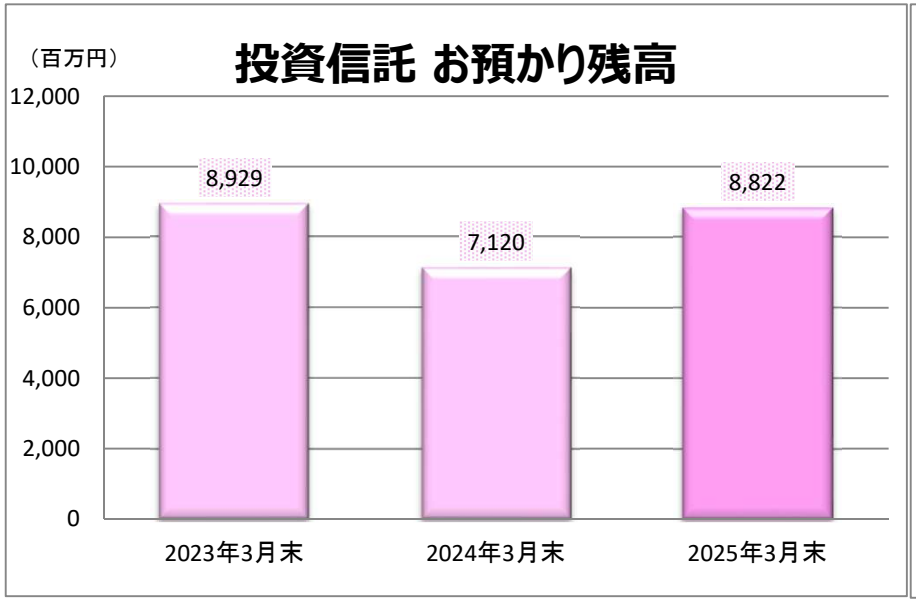
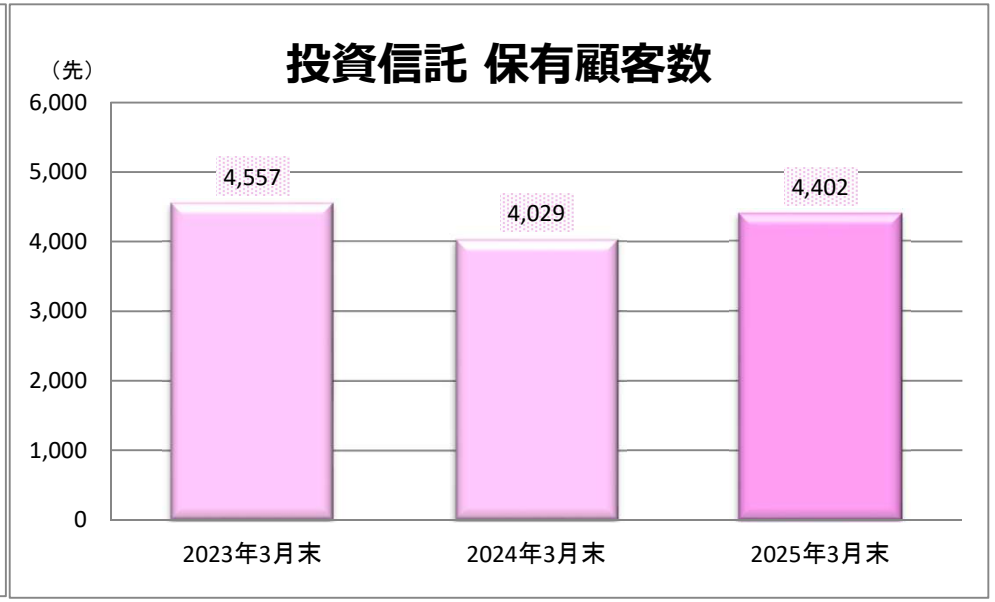
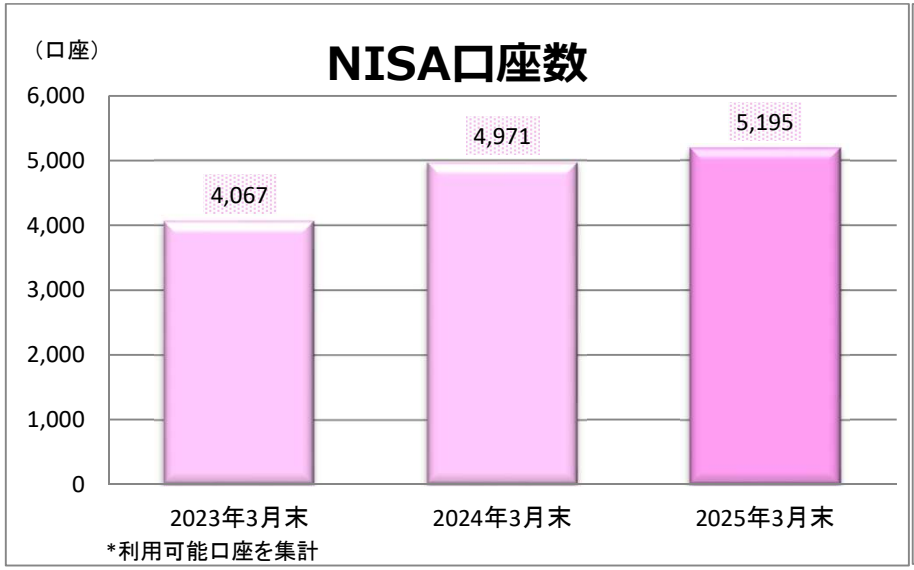
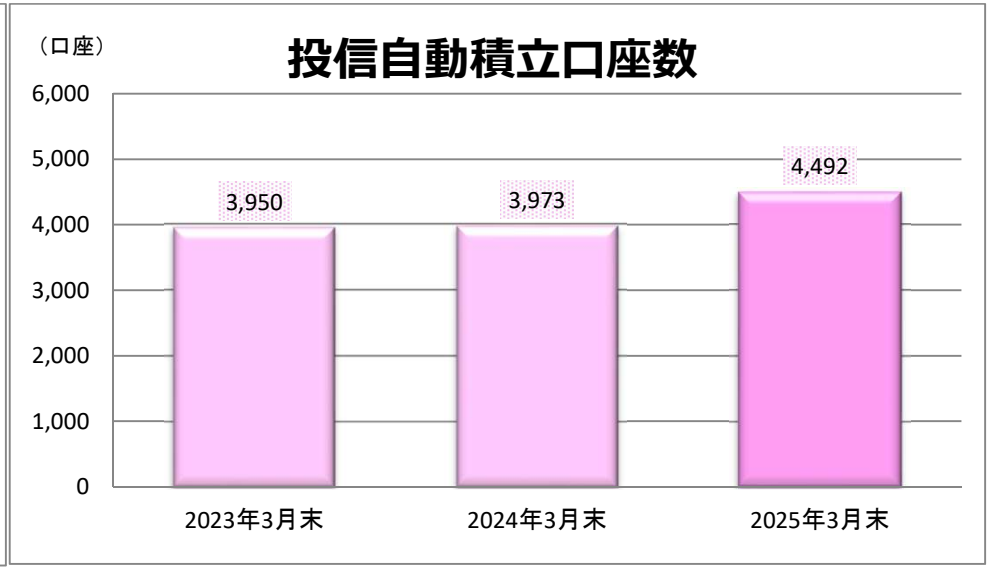
リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）　騰落率算出の際に用いる基準価額は分配金再投資後（税引前）の基準価額を使用

※上記は将来における当金庫の取扱の投資信託のリターン、リスクを示唆、保証するものではありません。

○当金庫の投資信託の残高上位20銘柄は以下のとおりです。（2025年3月末時点）

順位	銘柄名	コスト	リターン	リスク	投資信託残高（円）
１位	ＳＭＴ　グローバル株式インデックス・オープン	0.99%	23.76%	15.24%	934,830,281
２位	グローバルＡＩファンド	2.59%	23.07%	27.28%	690,441,791
３位	グローバル・ロボティクス株式ファンド（１年決算型）	2.60%	20.51%	19.68%	384,057,055
４位	しんきんインデックスファンド２２５	0.88%	14.38%	15.64%	318,364,621
５位	たわらノーロード　日経２２５	0.14%	15.39%	15.63%	265,080,594
６位	三井住友・ＮＹダウ・ジョーンズ・インデックスファンド（為替ノーヘッジ型）	1.19%	21.83%	15.32%	257,738,183
７位	たわらノーロード　先進国株式	0.10%	24.29%	15.27%	233,741,125
８位	しんきんＪリートオープン（毎月決算型）	1.49%	3.21%	10.73%	197,267,472
９位	グローバル・ヘルスケア＆バイオ・ファンド	3.08%	12.31%	14.21%	195,597,816
１０位	新光　ＵＳ－ＲＥＩＴ　オープン	2.23%	12.28%	16.16%	165,706,202
１１位	たわらノーロード　バランス（８資産均等型）	0.14%	10.48%	8.14%	132,277,092
１２位	米国インフラ関連株式ファンド＜為替ヘッジなし＞	2.37%	25.09%	18.58%	119,515,759
１３位	しんきんＪＰＸ日経４００オープン	0.88%	15.75%	12.77%	113,195,210
１４位	しんきんＪリートオープン（１年決算型）	1.46%	3.25%	10.78%	109,578,504
１５位	リスク抑制世界８資産バランスファンド	0.98%	-1.60%	3.61%	97,981,262
１６位	グローバルＳＤＧｓ株式ファンド	2.35%	17.29%	12.35%	96,292,210
１７位	ダイワ・バリュー株・オープン	2.33%	18.64%	11.91%	90,684,840
１８位	女性活躍応援ファンド	2.04%	8.11%	16.12%	79,317,111
１９位	しんきんグローバル６資産ファンド（毎月決算型）	1.60%	10.22%	8.38%	71,622,055
２０位	しんきん３資産ファンド（毎月決算型）	1.49%	8.44%	7.48%	70,677,541

＊対象銘柄：2025年3月末における設定後5年以上の預かり残高上位20銘柄。

○当金庫独自KPI

投資信託お預り残高、保有顧客数、NISA口座数および投信自動積立口座数の推移は下図のとおりです。